



平成21年12月

みらい子育てネットだより

発行 / 全国地域活動連絡協議会



■ CONTENTS ■

ブロック別研修会	2
平成20年度収支決算のご報告	3
平成21年度統一推進事業の中間報告	4
子育てトピックス／児童館紹介	5
みんなのひろば	6
事務局NEWS	8

「手作りおやつ」永犬丸児童館母親クラブ(福岡県)

スナック菓子ばかりの子どもたちを心配して、月1回の「手作りディイ」を実施しています。



ブロック別研修会のご報告
(2ページ)



母親クラブ活動が盛んな
児童館 (5ページ)



みんなのひろば (6ページ)

ご報告

平成21年度

指導者研修会

●主催／厚生労働省・開催県(青森県、兵庫県、宮崎県)・財・子ども未来財団・財・児童健全育成推進財団・全国地域活動連絡協議会

多くの参加者に感動と活動へのヒントを届けたブロック別研修会。各会場から充実感あふれる報告が届きました。

北海道・東北ブロック 関東・甲信越ブロック

●開催場所	青森県弘前市
●開催期間	8月27日(木)～28日(金)
●参加人数	延べ400名
●主なブロック	
「1日目」	行政説明・講演・フォーラム
「2日目」	放課後子どもプラン研修・事業説明・講演



子どもの心を育むために

今回の講演は、太宰治の長女津島園子氏に「太宰治をめぐる家族愛について」と題して、家族を取り巻く愛についてお話をいただきました。フォーラムでは「心に寄り添い心はぐくむ」をテーマに、パネリストは保育士を経て心の教室相談員の相馬氏、警察の立場から私たちの活動に賛同し、ご協力いただいている加藤氏、弘前市教育委員長の柴田氏。そして記者時代から母親クラブの大切さを訴えてきた青森大学教授の菅氏にコーディネーターをお願いしました。

他にも一輪車を通して心身の健全育成に力を入れ、世界大会で連続優勝するまでになった豊田児童センターの事例報告、放課後子どもプラン研修では、着実に事業を展開している大鰐町を選定しました。

当初からの会員の子どもたちが今、社会の中心となってがんばっている姿に、これまでの成果を感じることのできる活動を活発にし、今後とも心を育てることを底流に、会員の研鑽を積みながらの活動をしていきたいと思っています。

青森県地域活動連絡協議会会長 平野京

東海・近畿・北陸ブロック

●開催場所	兵庫県神戸市
●開催期間	9月10日(木)～11日(金)
●参加人数	延べ310名
●主なブロック	
「1日目」	行政説明・事業説明・活動発表・基調講演
「2日目」	放課後子どもプラン研修・講演



参加者の熱心な姿に感動

1日目は、(財)OAA・清水勲夫常務理事に「地域をはぐくむ子育てネット～グループ活動とリーダーシップ～」をテーマに、地域の現状と母親クラブの役割について講演していただきました。さらに日頃の活動を参考してもらおうと企画したクラフトでは、児童虐待防止の「オレンジリボン」や折り紙で作る鞄など、男性の参加者も多く、その熱心な姿に感動しました。

2日目は、西宮市で初の男性保育士として勤務された経験のある神戸常盤短期大学・小崎恭弘准教授の「遊びの環境とミニユニークーション」をテーマとした講演。各県の地協から「放課後子どもプラン」の取り組みについての発表もあり、参加者の評判も上々でした。「遠かったけど、来てよかったです」という声をいたいたり、終了後には、「母親クラブについてもっと知りたい」といううれしい問い合わせもありました。たくさんの方々のお陰で、研修会を盛会に終えることができました。本当にありがとうございました。

兵庫県地域活動連絡協議会会長 森下裕子

中国・四国・九州ブロック 九州ブロック

●開催場所	宮崎県宮崎市
●開催期間	7月9日(木)～10日(金)
●参加人数	延べ340名
●主なブロック	
「1日目」	行政説明・講演・事例発表・分科会
「2日目」	全体会・放課後子どもプラン研修・実践遊び・事業説明



次の一步を踏み出すために

超多忙な東国原英夫知事の登場に歓声とフラッシュの雨で始まった研修会。講演はどんぐりこども診療所病院長の糸数智美氏による「小児科医から見たこども事情・子育て事情」とてもわかりやすく、子育てはもちろん孫育てにも役に立つ、自らウロコの内容でした。事例発表の後は3つの分科会に分かれて意見交換。どの分科会も熱心に討議が行われ、「もっと時間がほしい」との声が上がりました。

2日目は前日の分科会の報告と研修「放課後子どもプラン」の説明。宮崎県の「みんなで子育て居場所づくり」の報告後、会員手づくりのお手玉で「お手玉あそび」を実践。みんな子どもにかえって夢中になり、いい笑顔になりました。

宮崎県地域活動連絡協議会会長 高山文子

研修会参加者の声

研修会に参加された皆さま、アンケートへのご協力ありがとうございました。寄せられた声からその一部をご紹介します。

■北海道・東北／関東・甲信越ブロックから

- ◇基調講演では、表面ではわからない太宰治の一面を垣間見ることができ、胸を打たれました。
- ◇すばらしい経歴をもつているパネリストの方々が実践されていること、その生の聲を聞くことができよかったです。
- ◇豊田児童センターの「輪車で育つ子どもの心」は、とても心に残るものでした。長年の継続のすばらしさと、木村先生の指導力に感動しました。

■東海・近畿・北陸ブロックから

- ◇「放課後子どもプラン」研修は、他県のさまざまな取り組みを知る良い機会になりました。
- ◇自分の子育てについて不安や疑問がありました。が、小崎恭弘先生のポイントをついた楽しいお話を整理することができ、これから役立たいと思いました。
- ◇兵庫県地協のエプロンシアターで、気持ちが和みました。



■中国・四国／九州ブロックから

- ◇小児科医の先生の講演は、現場での事例がたくさんありました。リーダーシップについて理解を深めることができました。
- ◇発達障害のことがわかり、もっと知りたいと思いました。
- ◇私たちの地区的「放課後子どもプラン」は児童館のみでの実施なので、他地区の活動がたいへん参考になりました。
- ◇文化会では、地産地消の食事やいろいろ工夫される体験談が聞きました。スライドもよかったです。
- ◇実践遊びであらためてお手玉の楽しさを見直しました。

平成20年度の収支決算をご報告します

(1)一般会計収支決算

平成20年4月1日～平成21年3月31日

収入の部(単位:円)

科目	本年度決算額	摘要
I会費収入	2,536,000	
II特別会費収入	1,708,000	みらい保険事務取扱費
III助成金収入	5,280,967	(財)児童健全育成推進財団
IV協賛金収入	0	
V雑収入	37,130	
当期収入合計(A)	9,562,097	
前期繰越収支差額	7,661,050	
収入合計(B)	17,223,147	

支出の部(単位:円)

科目	本年度決算額	摘要
システム費	0	
ホームページ保守料	68,354	
ブロック会議開催費	643,033	
機関誌作成費	1,344,710	
遊具の点検全国キャンペーン	1,343,521	単位クラブ宛て送料と返送料の追加および前年度分一部負担
公園の防犯	1,148,942	単位クラブ宛て送料と返送料の追加
ちらし作成費	0	
表彰関係費	110,700	
旅費交通費	2,488,150	
推進対策費	900,000	
加入促進費	701,925	「みらい」保険事務取扱費還元
印刷費	320,367	
会議費	498,622	
通信運搬費	429,976	
消耗品費	62,140	
賃借料	108,146	倉庫代
子育て支援	177,827	子育て支援事業(特別会計)関係費用うち19,260円を特別会計へ
モデル事業支援	0	
雑費	115,918	
予備費	0	
当期支出合計(C)	10,462,331	
当期収支差額(A)-(C)	△ 900,234	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,760,816	

(2)特別会計収支決算

以下の2つの特別会計があります。

(詳細はホームページまたは都道県・市地協へ送付済みの平成20年度事業報告をご覧ください)

①地域組織活動支援事業

全国大会・ブロック研修会開催を管理する特別会計です。

(財)こども未来財団からの8,593,000円の助成金と、(財)児童健全育成推進財団からの1,119,033円の助成金、参加者負担875,000円、計10,587,033円で運営されました。

②子育て支援事業

独立行政法人福祉医療機構の助成事業「母親クラブによる『地域の安全システム』モデル事業」を管理する特別会計です。

福祉医療機構から3,155,248円の助成、一般会計からの19,260円の補助、計3,174,579円で運営されました。

*平成20年度の収支決算は持ち回り総会において承認されました。

平成21年度
全地協統一推進事業
中間報告

平成21年度、全地協は各都道県・市地域活動連絡協議会を通して全国の母親クラブに協力をお願いし、「遊び場遊具の点検活動」「公園の防犯活動」そして「母親クラブによる地域の安全・安心対策と児童虐待予防事業」を開いたしました。今年度もたくさんのクラブ・会員の方々のご協力をいただきました。現在の取り組み状況について報告いたします。

全地協統一推進事業へのご協力、ありがとうございました！

■ 繼続事業

- ・「遊び場遊具の点検活動」は毎年夏休み前の7月第2週を中心¹に遊具の点検を行い、今年で7回目となります。
 - ・「公園の防犯活動」は7月を「公園の防犯活動月間」として点検を行い、今年で4回目となります。
 - ・6月下旬に2つの活動の実施要領と点検報告書を全国約1700の単位クラブへ送付し、協力をお願ひしました。
 - ・全地協事務局へ点検結果の報告があつたクラブ数は次のとおりです。



■新規事業

福祉医療機構の助成を受けて「母親クラブによる地域の安全・安心対策」と児童虐待予防事業」を実施いたしました。この事業は大きく2つの活動に分かれています。

年度末には本事業をまとめたりーフレットを作成し、単位クラブをはじめ、協力いただいた方々に配布します。



■平成20年度の成果を受けて展開

兒童虐待予防事業

沢崎俊之埼玉大学教授の指導のもと、親子関係の実態や虐待・子育てについての親の認識を調査し、その結果を分析して虐待予防について考えることとしました。

- 11月初旬、全国約1700の単位クラブに、それぞれ10人分の「子育てについてのアンケート」用紙を送ってご協力の依頼をするようお願いしました。

・ 小学4年から18歳までのお子さんにもアンケートをお願いしました。

・ ともに大変多くの方からの回答があり、現在データ入力中です。

・ アンケート結果は沢崎先生に分析をお願いしています。

具体的な活動内容

[事業説明会の開催]
8月末から9月中旬にかけ全国5カ所で各クラブ代表者に事業の趣旨や手順を説明しました。

[犯罪危険の実態調査]
行政や小学校の協力を得て小学校4～6年生にアンケートを実施。各クラブで結果をまとめ「犯罪危険地図」を作ります。

[ワークショップ]
「犯罪危険地図」をもとにワークショップ（現場確認）を行い、具体的な改善計画を検討します。既に終了しているクラブもありますが、12月中にはすべて終える予定です。

子育て Topics



全地協・みらい子育てネットの 新しいご案内パンフレットができました

通信委員の皆さんと作成した、新しいご案内パンフレット。

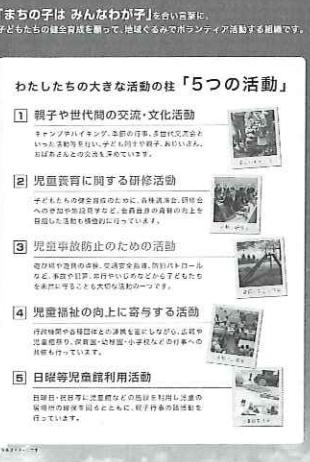
裏面では、加盟している全国の地協を日本地図とともにご紹介しています。

今年度の通信委員の皆さん、会議等で意見を出し合いながら、新しい全地協・みらい子育てネットのご案内パンフレットを作成しました。デザインも一新し、みらい子育てネットの沿革や5つの活動内容のご紹介、どうしたら入会できるのかなど、要点を整理し、わかりやすく案内しています。

みらい子育てネット

● 親子会
お子さんと一緒に楽しめる親子会です。
毎月開催
お子さんとお母さんと一緒に遊びや講習会を行なわれます。
出典: 宮崎県立総合子育て支援センター
● 児童館
市立総合児童館や各地区の児童館で開催される親子会や講習会等の各種活動を行なっています。
出典: 宮崎県立総合子育て支援センター
● 児童クラブ
市立児童クラブや各地区の児童クラブで開催される親子会や講習会等の各種活動を行なっています。
出典: 宮崎県立総合子育て支援センター
● 入会するには?
新規の会員登録は、お申込み用紙を提出して下さい。
お問い合わせ下さい。お問い合わせ用紙を提出して下さい。

● どんなことをしているの?
お子さんと一緒に楽しめる親子会はばかりでなく、子育て教室、地域の子育て支援など、子どもたちが多くのまなざしまで楽しめる活動を行なっています。
出典: 宮崎県立総合子育て支援センター
● お母さんしか入れないの?
お母さんと一緒に楽しめる親子会はばかりでなく、子育て教室、地域の子育て支援など、子どもたちが多くのまなざしまで楽しめる活動を行なっています。
出典: 宮崎県立総合子育て支援センター



母親クラブの活動を多くの方に理解していただくために

単位クラブの皆さんには、この機関誌と一緒に5部ずつを同封してお送りしています。

日ごろお世話をなっている行政の担当課や児童館、またその他の関係機関、興味をもたれた方などへのご説明に、ぜひ有効にお役立てください。

児童館紹介

母親クラブ活動が活発な児童館です。

宮崎県宮崎市 倉岡児童館



■子どもたちが楽しんでいる、地域活動クラブ会長のパントマイム

地域活動クラブとの共催行事には欠かせない人がいます。クリスマス会や新入生歓迎会で腹話術やパントマイムを披露してくれる、地域活動クラブの会長です。いつもは飽きやすい子どもたちも、この時ばかりは最後まで熱心に見てています。

児童館、児童クラブおよび地域活動クラブが連携し、「子どものことをみんなと一緒に考えよう」という目的意識で一つの輪になつた時、子どもが求める児童館がそこにあり、地域に根ざした児童館になると確信しています。

館長 小石 康雄

みんなのひろば

今日もどこかで、元気に活動を続いている母親クラブ。各ブロックから届いた活動レポートをご紹介します。



東海・近畿・北陸ブロック

■北海道・東北ブロック

鶴城ふれあいクラブ

●所在地 福島県会津若松市
●メンバーナンバー 大人116名 子ども109名



地域の人たちと一緒に楽しむ「夏祭り」。
前売り券が完売するなど今年も大盛況でした。

鶴城ふれあいクラブは、城前児童センターを利用している子どもクラブや幼児クラブの家族など、さまざまな人によって構成されています。主な活動としては、夏祭りやもちつき、会津特有の正月に行う「だんじり」、公園清掃があり、活動は幼児クラブのお母さんと幼児クラブOGのお母さんが主となって行います。

クラブの最大の行事は、子どもたちはもちろん、地域の人たちも楽しみにしている夏祭り。今年は前売りチケットが前日にほぼ完売してしまい、私たちも驚くほどの売れ行きでした。子どもたちが準備を手伝ってくれたり、地域の子どもたちとふれあう場として夏祭りを楽しみにしている老人クラブの方々も、当団はお手伝いにきてくれました。今年の夏祭りでは、手作りのうわを作の「コーナー」がなかなか好評でした。

今、私たちはもちつきの準備をしています。インフルエンザの影響で中止になる可能性もありますが、子どもたちの悲しむ顔は見たくない、ギリギリまで中止の判断はしないと決めました。これからも子育てを楽しみながら、地域の子育て支援につながる活動をしていきたいと思っています。

(会長 物江澄子)

■関東・甲信越ブロック

ぐんま地域活動連絡協議会

●所在地 群馬県前橋市
●メンバーナンバー 29クラブ 1100名



みんなで力を合わせ焼き上げた大きなピザ。
そのおいしさは格別でした。

ぐん地協では、10月17日、地域活動研修会として、「親子ピザ作り＆食育」が行われ、120名が参加しました。「生地を粉から作るのは初めて」と不安な面持ちで始まりましたが、順番でこねていくうちに「おとうさんがんばって」「ほら、もっと力入れて…」と掛け声も加わり、ふわふわの生地が完成。具材を切ったり、トッピングをしたり、真剣に取り組む子どもたちにたくましさを感じました。野外の窯まで大事に運んで焼き上がりを待ち、大きなピザに大満足！「ものすじーくおいしい」と、口のまわりのソースなどおかまいなしにほおばつている子どもたちが印象的でした。

午後は、ぐん地協メンバーによる「食育パネルシアター」で、ねずみの親子と共に少しばかりお勉強。ピザの食材「具レンジジャー」(玉葱・ピーマン・トマト・チーズ・サラミ)が登場して、体の調子を整える野菜と体を作るお肉やお魚、体の力になるピザの生地やご飯を、バランスよく食べようねと教えてくれました。

今後も、心身の健康・子どもたちの健やかな成長を支援していく活動を続けていきたいと実感した研修会でした。

(副会長 長野玲子)

■東海・近畿・北陸ブロック

犬山市地域活動連絡協議会

●所在地 愛知県犬山市
●メンバーカー数 7クラブ 376名



「新聞紙で遊ぼう」を
テーマに、イベントを開催。
みんな夢中になつて
遊んでくれました。

犬山市の各児童センターで活動しているクラブがひとつになって子どもたちと楽しむ、年に一度の大きなイベント「第11回あつまれ！いぬやまつここうきつき大行進」が、10月14日に開催されました。3年前より2学期制となり、新たに設定された「秋休み」に楽しんでもらっています。

今年は「新聞紙で遊ぼう」をテーマに、「しんぶん横丁」と名づけました。新聞紙で作ったつりざおでの「お魚つり」。魚は牛乳びんのふたを利用した子どもたちの手作りです。新聞紙で折った「スリッパとばし」や、新しくした紙を入れたビニールブルで折り紙の手裏剣をさがす「宝さがし」。見つけるとおみやげに「折り紙のコマ」がもらえます。みんな夢中になつて、細かい紙がプールからあふれて部屋中に散らばり、片づけるまで「コーナー中止」というアクシデントも。350個用意した「コマもすべてなくなりましたが、子どもたちは遊んでいました。これからも身近なもので遊べる企画を考えていきたいと思います。

(会長 山田順子)

■中国・四国ブロック

広島市地域活動連絡協議会

●所在地 広島県広島市
●メンバーカー数 81クラブ 4421名



平和の「ハート」と「母」を
モチーフに、「心」を表現。
新しい協議会旗を
ご紹介します。



広島市地協では、食育を中心とした地域活動研修会をはじめ、児童福祉月間に行なう育児サロンなど、各クラブが趣向をこらして活動し、参加者にも好評を得ています。また公園の遊び場安全点検と防犯活動に加え、交通安全キャンペーン活動では、子どもたちとマスクコットを配布しているクラブや、「ゴミゼロクリーンウォーキ」を実施しているクラブもあります。

また今年は、市地協として「新たな一歩」を目指し、協議会旗を新調することにしました。従来の母マークに「わっと広島らしさ」をプラスしたいと思い、広報紙などを通じて会員の皆さまから旗のデザインを募集しました。応募数は20と少なめでしたが、どの作品も広島市地協のイメージを真摯に受け止めたものでした。厳正なる審査の結果、平和の象徴である「ハート」と母親クラブの象徴である「母」をモチーフにして「心」の文字を表現した作品に決定。広島の新しい平和のシンボルがまたひとつ誕生したと自負しています。平成21年度の研修会に初お披露目ができるよう、ただ今制作中です。全国にもご自慢の協議会旗があると思いますので、ぜひご紹介ください。

(会長 小口タ子)

■九州ブロック

永犬丸児童館母親クラブ

●所在地 福岡県北九州市
●メンバーカー数 60名



「手作り」をモットーに
児童館の行事を共催。
地域の皆さんに
喜ばれています。

今年で設立30周年を迎えた永犬丸児童館母親クラブ。その特徴は大型紙芝居、人形劇、エプロンシアター、ベル、マリオネットなど、手作りの品々で児童館行事を共催していることで、みんなに喜ばれています。

また子どもたちのおやつがあまりにもスナック菓子中心なのを憂い、20数年前から実施しているのが、月1回の手作りディイで子どもたちも心待ちにしています。

毎週水曜日には、メンバーが交代で紙芝居を実施。ゲームやテレビなど動く画面に慣れている子どもたちから真剣に見つめられ、読み手も緊張しますが、喜ぶ顔を見るとうれしさも倍増、意欲が湧いてきます。

2～3年前からは、児童館を飛び出し、子育てサークルや年長者の昼食会などへの出前公演を行なうなど、地域の皆さんからの依頼にも応えてています。

その他年間行事として、老人福祉施設の入居者に子どもたちと一緒に制作した年賀状を差し上げたり、地域5校の新小学一年生、特別支援学校の皆さんに交通安全のお守り「かえるちゃん」を作りし、プレゼントしています。これからも楽しみながらこうした活動を続けていきたいと思います。

(代表 富口美恵子)

事務局 NEWS

■叙勲、おめでとうございます！

「平成21年度春の叙勲」で、青森県地協の平野京会長が、永年にわたる母親クラブ活動をはじめとする地域活動が評価され、めでたく「旭日双光章」を受章されました。これからますますのご活躍をお祈りいたします。



平野京会長
(青森県地域活動連絡協議会)

■母親クラブのプログラム開発事業をリニューアルして実施中

こども未来財団より助成をいただき、育成財団による母親クラブへの支援事業として展開されてきたプログラム開発事業。4年目を迎える今年度は、児童館をベースにした母親クラブの立ち上げやクラブ活動の活性化と事業内容をリニューアルし、全国6カ所で実施されています。今年度の事業に取り組んでいたクラブは左記の通りです。

詳しく述べる
www.hahaoya-club.ne.jp/community

ぐんま地協と静岡県地協が母親クラブのブースを担当。
日ごろの成果を発揮しました。



肌寒く、途中雨が降る天候にもかかわらず、2万人を超える来場者でぎわいました。



児童健全育成フェスタ2009

「じゅうかんあそびの宝島」の報告

連休の5月6日㈯恒例の児童健全育成フェスタが上野恩賜公園で開催されました。このイベントは育成財団が児童福祉週間の関連事業として実施しているもので、ステージでは子どもたちによるダンスなどのパフォーマンスや、ブースでは北海道から沖縄まで、さまざまな協力団体が工作や昔遊びなどのコーナーを開設しました。

後援団体として例年参加している全協でも、ぐんま地協と静岡県地協にブースを担当していただき、多くの来場者に地協の楽しい活動をアピールすることができました。

大好評だったフェスタのブース

全国のクラブから楽しい活動の報告や写真が送られてきていますでしょうか。活動のヒントやクラブ同士の情報交換にもぜひ活用ください。

ブログ。ご覧いただいていますでしょうか。活動のヒントやクラブ同士の情報交換にもぜひ活用ください。

表紙をあなたの写真で飾りませんか。次号の機関誌作成にあたって、みなさんの情報をお待ちしています。各クラブのおもしろい活動や慢の活動など、各ブロックの通信委員または事務局まで情報を寄せください。また表紙に掲載する写真も引き続き募集しています。クラブの活動中の写真であればなんでも結構です。採用させていただいた方には、書力ードをプレゼントいたします。

最新情報はウェブでチェックを

●全地協のトップページ
www.hahaoya-club.ne.jp



「子育て支援」情報は関連サイトで
●厚生労働省
www.mhlw.go.jp
●児童健全育成推進財団
www.jidoukan.or.jp
●キッズエクスプレス21
kids21.gr.jp

ブログへは、
こここのBLOG
の文字をクリック。



ブログへは
携帯電話からも
アクセスできます。
携帯電話のカメラでこの
QRコードを読み取るだけ。

全国大会速報

倉敷市で全国大会を開催

去る11月5日(木)・6日(金)に

岡山県倉敷市で平成21年度の全国

大会が開催されました。

行政説明や音楽療法に関する講演、全地協表彰、今年度のプロジェクト研修会の報告。また、岡山といえば「ももたろう」ということで民話「ももたろう」のお話などもあり、北海道から沖縄まで、指導者を中心には、中身の濃い2日間を共有しました。

母親クラブ みらい子育てネットだより

発行／全国地域活動連絡協議会

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前 5-53-1 10F

財団法人 児童健全育成推進財団内

TEL 03-3797-8183 FAX 03-3486-5142

www.hahaoya-club.ne.jp

●送り先
左記の全地協事務局まで
●メールでの送付先
amino@hahaoya-club.ne.jp
●締め切り
2010年2月末日
※本誌では以下の略号を用いることがあります。
全地協：全国地域活動連絡協議会
地協：地域活動連絡協議会
育成財団：(財)児童健全育成推進財団

情報・写真提供のお願い